

WISS Challenge 2004：非接触 IC カードを用いたポスターセッション向け投票システムの提案

根岸 佑也 ， 河口 信夫 （名古屋大学） negishi@el.itc.nagoya-u.ac.jp

1. 目的

ポスターセッションにおける、非接触 IC カードを利用した投票システムを提案します。

本システムは、非接触 IC カードを利用したインタフェースによって閲覧者が手軽に発表者にポイントを投票できる機能と、リアルタイムに全体の投票状況を確認できる機能の実現を目的としています。(Fig.1)

具体的な構成と使用方法は下記の通りです。

2. システム構成

本システムでは、次のような構成要素から成り立ちます。

- ・ 閲覧者が持つ非接触 IC カード (Felica)
- ・ 非接触 IC カードリーダー (Felica リーダ・ライタ) と投票用 PC
- ・ 集計用中央サーバとしての PC とプロジェクタ
- ・ 各 PC を接続するためのネットワーク



Fig.1 Felica による投票の様子

非接触 IC カードは、それぞれ固有の ID を持たせ、閲覧者に配布し携帯してもらいます。非接触 IC カードとしては Felica を利用します。

Felica リーダ・ライタと投票用 PC は、発表を行っているポスターの傍らに設置しておきます。

集計用中央サーバは各リーダー・ライタから得たデータを管理し、投票状況を表示する役割を持ちます。

この様子を Fig.2 に示します。また、機材リストの詳細は別紙を参照してください。

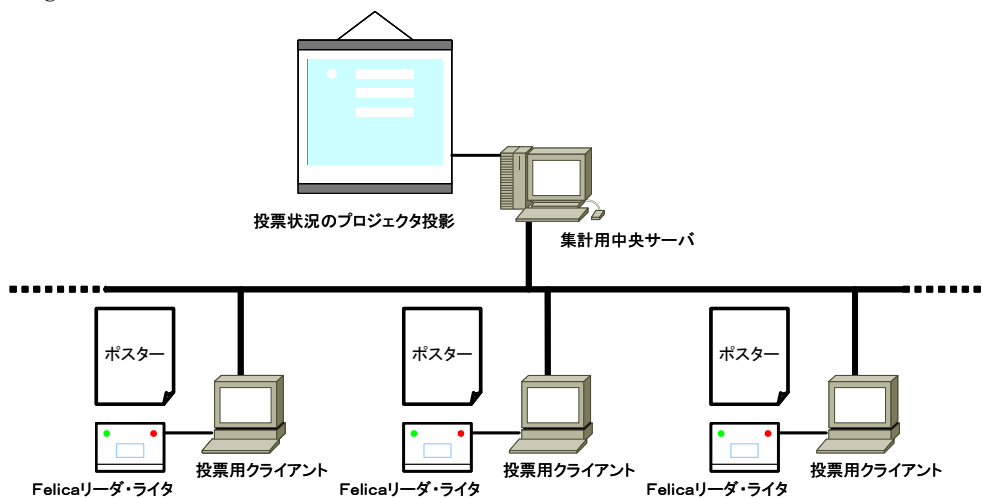


Fig.2 システム構成図

3. 使用方法

ポスターセッション中は次のようにして、本システムを使用します。

- ① 閲覧者はポスター発表の内容を評価できると判断したならば、ポスター傍らのリーダー・ライタに自己のカードを置くことでポイントを発表者に与えることができます。(Fig.1)

この時、閲覧者一人一人にあらかじめ 100 点と決まった持ち点を定義しておき、ポイントを投票した数で等分割した得点を投票した発表者に対して与えられるものとします。これによって数多く投票した閲覧者と少ない投票数である閲覧者との間でポイントを差別化することが可能になり、ポイントの重みを平等にすることができます。

- ② また、それら投票結果をリアルタイムにプロジェクタなど共用ディスプレイに映し出し、セッション全体の投票状況（ポイントではなく投票数）を確認できるものとします。これによって、閲覧者は現在どのポスターに人気があるのか容易に把握することが可能になります。